

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～第13回

1. 実施日

令和4年11月26日（土）1、2限

2. 場所

多目的教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 山中脩平 三嶋千代子 藤原久美子 中村啓介

5. 内容

中間発表会を踏まえて、各チーム、リサーチクエスチョンや調査方法を見直す。調査が終わっていないチーム、冬季休業中に調査に行く予定のチームは実施計画を立てる。

6. 学び

中間発表会では、それぞれのチームの良いところや課題を指摘していただいた。特に調査方法について、「これは必要な調査なのか」、「〇〇の情報を知りたい時はどのような質問が適切か」、「手持ちのデータは適切に採取されたデータか」など、学術における調査データの重要性について指摘いただいたことが多かった。これまでは、校内でのアンケートやインターネットを用いた検索が中心だったが、校外に調査や査読論文などを用いるチームも出てきた。研究ノートをより学術的にしようとする試みが各チームで見られた。

7. 次回への課題

作業が早く進むチームは、研究ノートの執筆を開始させることにより、他のチームに雛形・参考材料を示せるようにしたい。冬季休業までに調査を一区切りさせ、研究ノート執筆に繋げていきたい。

8. 本時の振り返り

各チーム、指摘されたことを真摯に受け止め、探究内容を修正していた。また、方向性に迷いが生じていたチームも見通しをもって作業を進めることができていた。